

# 官報

号 外  
国会会議録

令和七年十月二十一日

## ○第二百十九回国参議院会議録第一号

令和七年十月二十一日(火曜日)

午前十時一分開議

○議事日程 第一号

令和七年十月二十一日

午前十時開議

第一 議席の指定  
第二 会期の件

○本日の会議に付した案件

- 一、日程第一
- 一、新議員の紹介
- 一、常任委員長辞任の件
- 一、常任委員長長の選挙
- 一、特別委員会設置の件
- 一、調査会設置の件
- 一、情報監視審査会委員辞任の件
- 一、情報監視審査会委員の選任
- 一、日程第二
- 一、内閣総理大臣の指名

○議長(関口昌一君) 第二百十九回国会は本日召集されました。

これより会議を開きます。

日程第一 議席の指定

議長は、本院規則第十四条の規定により、諸君の議席をただいまの仮議席のとおりに指定いたします。

○議長(関口昌一君) この際、新たに議席に着かれた議員を御紹介いたします。

議席第二百三十一番、比例代表選出議員、上野はたる君。

〔上野はたる君起立、拍手〕

○議長(関口昌一君) この際、常任委員長の辞任についてお諮りいたします。

内閣委員長小野田紀美君、総務委員長小沢雅仁君、法務委員長谷合正明君、外交防衛委員長宮崎勝君、財政金融委員長宮沢洋一君、文教科学委員長勝部賢志君、厚生労働委員長本田顕子君、農林水産委員長舞立昇治君、経済産業委員長磯崎哲史君、国土交通委員長小西洋之君、環境委員長青山繁晴君、予算委員長中西祐介君、決算委員長片山さつき君から、それぞれ常任委員長を辞任したいとの申出がございました。

いずれも許可することに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。よって、いずれも許可することに決しました。

○議長(関口昌一君) この際、欠員となりました常任委員長長の選挙を行います。

つきましては、常任委員長長の選挙は、その手続を省略し、いずれも議長において指名することに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。

よって、議長は、

内閣委員長に北村経夫君を指名いたします。

〔拍手〕

総務委員長に吉川沙織君を指名いたします。

〔拍手〕

法務委員長に伊藤孝江君を指名いたします。

〔拍手〕

外交防衛委員長に里見隆治君を指名いたします。

〔拍手〕

財政金融委員長に宮本周司君を指名いたします。

〔拍手〕

文教科学委員長に熊谷裕人君を指名いたします。

〔拍手〕

厚生労働委員長に小川克巳君を指名いたします。

〔拍手〕

農林水産委員長に藤木真也君を指名いたします。

〔拍手〕

経済産業委員長に浜口誠君を指名いたします。

〔拍手〕

国土交通委員長に辻元清美君を指名いたします。

〔拍手〕

環境委員長に猪口邦子君を指名いたします。

〔拍手〕

予算委員長に藤川政人君を指名いたします。

〔拍手〕

決算委員長に西田昌司君を指名いたします。

〔拍手〕

○議長(関口昌一君) この際、特別委員会の設置についてお諮りいたします。

災害及び東日本大震災からの復興に関する総合的な対策を樹立するため、委員三十名から成る災害対策及び東日本大震災復興特別委員会を、

〔拍手〕

沖縄及び北方問題並びに地方の活性化等に関する総合的な対策を樹立するため、委員二十名から成る沖縄・北方問題及び地方に関する特別委員会を、

〔拍手〕

政治改革に関する調査のため、委員三十五名から成る政治改革に関する特別委員会を、

〔拍手〕

北朝鮮による拉致等に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため、委員二十名から成る北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会を、政府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する諸問題を調査するため、委員二十名から成る政

府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する特別委員会を、

デジタル社会の形成、人工知能の活用及び関係する科学技術等に関する総合的な対策を樹立するため、委員二十名から成るデジタル社会の形成及び人工知能の活用等に関する特別委員会を、

消費者の利益の擁護及び増進等に関する総合的な対策を樹立するため、委員二十名から成る消費者問題に関する特別委員会を、

また、こども・子育て・若者活躍に関する総合的な対策を樹立するため、委員二十名から成るこども・子育て・若者活躍に関する特別委員会を、それぞれ設置したいと存じます。

まず、災害対策及び東日本大震災復興特別委員会を設置することについて採決をいたします。

本特別委員会を設置することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、本特別委員会を設置することに決しました。

次に、沖縄・北方問題及び地方に関する特別委員会並びにデジタル社会の形成及び人工知能の活用等に関する特別委員会を設置することについて採決をいたします。

両特別委員会を設置することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、両特別委員会を設置することに決しました。

次に、政治改革に関する特別委員会、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会、消費者問題に関する特別委員会及びこども・子育て・若者活躍に関する特別委員会を設置することについて採決をいたします。

以上の四特別委員会を設置することに御異議ございませぬか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。

よって、政治改革に関する特別委員会外三特別委員会を設置することに決しました。

次に、政府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する特別委員会を設置することについて採決をいたします。

本特別委員会を設置することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、本特別委員会を設置することに決しました。

本院規則第三十条の規定により、議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり特別委員を指名いたします。

議長の指名した委員は左のとおり

○災害対策及び東日本大震災復興特別委員

石井 浩郎君	いんどう周作君
かまやち敏君	見坂 茂範君
小林孝一郎君	櫻井 充君
橋本 聖子君	藤木 眞也君
星 北斗君	宮本 和宏君

宮本 周司君	森 まさこ君
脇 雅昭君	小沢 雅仁君
古賀 千景君	福士 珠美君
森本 真治君	山内佳菜子君
伊藤 辰夫君	芳賀 道也君
原田 秀一君	佐々木雅文君
下野 六太君	竹内 真二君
嘉田由紀子君	松野 明美君
塩入 清香君	杉本 純子君
仁比 聡平君	山本 太郎君

○沖縄・北方問題及び地方に関する特別委員

青山 繁晴君	石井 浩郎君
井上 義行君	今井絵理子君
江島 潔君	自見はなこ君
鈴木 宗男君	高橋はるみ君
勝部 賢志君	徳永 エリ君
横沢 高德君	浜口 誠君
山田 吉彦君	秋野 公造君
窪田 哲也君	青島 健太君
石 平君	安達 悠司君
岩渕 友君	伊勢崎賢治君

○政治改革に関する特別委員

阿達 雅志君	岩本 剛人君
白井 正一君	神谷 政幸君
上月 良祐君	古庄 玄知君
櫻井 充君	永井 学君
中西 祐介君	福山 守君
藤井 一博君	船橋 利実君
古川 俊治君	星 北斗君
山下 雄平君	山本佐知子君
木戸口英司君	熊谷 裕人君

○北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員

小林 一大君	自見はなこ君
清水 真人君	福岡 資麿君
山田 太郎君	山田 宏君
山谷えり子君	吉井 章君
打越さく良君	三上 えり君
森 ゆうこ君	牛田 茉友君
川合 孝典君	三浦 信祐君
中条きよし君	櫻井 祥子君
松田 学君	大島九州男君
北村 晴男君	百田 尚樹君

○政府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する特別委員

石田 昌宏君	白井 正一君
大家 敏志君	高橋 克法君
古川 俊治君	本田 顕子君
松山 政司君	若林 洋平君
青木 愛君	石橋 通宏君
古賀 之士君	牧山ひろえ君
堂込麻紀子君	庭田 幸恵君
上田 勇君	高橋 光男君
猪瀬 直樹君	岡崎 太君
大津 力君	初鹿野裕樹君

○デジタル社会の形成及び人工知能の活用等に関する特別委員

越智 俊之君	鈴木 大地君
出川 桃子君	友納 理緒君
西田 英範君	東野 秀樹君
船橋 利実君	松下 新平君
若井 敦子君	岸 真紀子君
郡山りよう君	広田 一君
磯崎 哲史君	平戸 航太君
司 隆史君	上野はたる君
新実 彰平君	岩本 麻奈君
奥田ふみよ君	高良 沙哉君

○消費者問題に関する特別委員

赤松 健君	生稲 晃子君
上野 通子君	加藤 明良君
古賀友一郎君	長谷川英晴君
宮本 周司君	山田 太郎君
石垣のりこ君	柴 慎一君
福島みずほ君	村田 享子君
江原くみ子君	浜野 喜史君
川村 雄大君	竹谷とし子君
串田 誠一君	松沢 成文君
後藤 翔太君	大門実紀史君

○子ども・子育て・若者活躍に関する特別委員

赤松 健君	石井 浩郎君
上月 良祐君	古庄 玄知君
友納 理緒君	長谷川英晴君
三原じゅん子君	山本 啓介君
泉 房穂君	小島とも子君
高木 真理君	ラサール石井君
小林さやか君	舟山 康江君
原田大二郎君	宮崎 勝君

石井めぐみ君 高木かおり君  
中田 優子君 吉良よし子君

○議長(関口昌一君) この際、調査会の設置についてお諮りいたします。

国際問題に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、委員二十名から成る国際問題に関する調査会を、

国民生活・経済に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、委員二十名から成る国民生活・経済に関する調査会を、

また、原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、委員二十名から成る資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会を、

それぞれ設置いたしたいと存じます。

三調査会を設置することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、国際問題に関する調査会外二調査会を設置することに決しました。

本院規則第八十条の八の規定により、議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり調査会委員を指名いたします。

議長の指名した委員は左のとおり

○国際問題に関する調査会委員

鈴木 大地君	鈴木 宗男君
藤井 一博君	堀井 巖君
吉井 章君	若井 敦子君

脇 雅昭君 塩村あやか君  
高木 真理君 ラサール石井君  
庭田 幸恵君 原田 秀一君  
伊藤 孝江君 窪田 哲也君  
石井 苗子君 石 平君  
大津 力君 杉本 純子君  
伊勢崎賢治君 伊波 洋一君

○議長(関口昌一君) この際、お諮りいたします。

有村治子君、田名部匡代君、串田誠一君から、それぞれ情報監視審査会委員を辞任いたしたいとの申出がございました。

いずれも許可することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。

よって、いずれも許可することに決しました。

○国民生活・経済に関する調査会委員

いんどう周作君	上野 通子君
かまやち敏君	小林 一大君
小林孝一郎君	野上浩太郎君
星 北斗君	山本佐知子君
泉 房穂君	柴 慎一君
福士 珠美君	山内佳菜子君
かこしま彰宏君	水野 孝一君
川村 雄大君	宮崎 勝君
上野はたる君	中条きよし君
宮出 千慧君	白川 容子君

○資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会委員

青山 繁晴君	赤松 健君
見坂 茂範君	出川 桃子君
西田 英範君	東野 秀樹君
福山 守君	宮本 和宏君
鬼木 誠君	木戸口英司君
郡山りよう君	小島とも子君
伊藤 辰夫君	奥村 祥大君
竹内 真二君	松野 明美君
後藤 翔太君	岩渕 友君
天畠 大輔君	百田 尚樹君

○議長(関口昌一君) この際、欠員となりました

情報監視審査会委員三名の選任を行います。

情報監視審査会委員の選任は、参議院情報監視審査会規程第六十条の規定により、議院の議決によることとなっております。

情報監視審査会委員に宮沢洋一君、森ゆうこ君、石井苗子君を選任することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、選任することに決しました。

これにて休憩いたします。

午前十時十四分休憩

午後一時三十一分開議

○議長(関口昌一君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第二 会期の件

議長は、今期国会の会期を五十八日間といたしたいと存じます。

会期を五十八日間とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、会期は五十八日間とすることに決しました。

○議長(関口昌一君) 本日、石破内閣総理大臣からの次の通知に接しました。

内閣は、本日、総辞職することに決定いたしましたから、国会法第六十四条によつて、この旨、通知いたします。

以上であります。

○議長(関口昌一君) よつて、これより内閣総理大臣の指名を行います。

指名は、本院規則第二十条の規定により、記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国会議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、投票をお願いします。氏名点呼を行います。

〔参事氏名を点呼〕

〔投票執行〕

○議長(関口昌一君) 投票漏れはございませんか。――投票漏れはないと認めます。投票箱閉鎖。

〔投票箱閉鎖〕

○議長(関口昌一君) これより開票いたします。投票を参事に点検させます。

〔参事投票を計算、点検〕

○議長(関口昌一君) 投票の結果を報告いたします。

投票総数

二百四十六票

本投票の過半数は百二十四票でございます。

高市早苗君

百二十三票

野田佳彦君

四十四票

玉木雄一郎君

二十五票

斉藤鉄夫君

二十一票

神谷宗幣君

十五票

田村智子君

七票

山本太郎君

六票

安野貴博君

二票

百田尚樹君

一票

福島みずほ君

一票

白票

一票

ただいま報告いたしましたとおり、得票者の得票数はいずれも投票の過半数に達しておりません。

よつて、本院規則第二十条第三項の規定により、投票の最多数を得られた二人について決選投票を行わなければなりません。

〔投票者氏名は本号末尾に掲載〕

○議長(関口昌一君) これより内閣総理大臣の指名について決選投票を行います。

投票の最多数を得られた方は、高市早苗君と野田佳彦君であります。両君のうち一人の氏名を記名投票用紙に記入して、御登壇の上、投票をお願いします。氏名点呼を行います。

〔参事氏名を点呼〕

〔投票執行〕

○議長(関口昌一君) 投票漏れはございませんか。――投票漏れはないと認めます。投票箱閉鎖。

〔投票箱閉鎖〕

○議長(関口昌一君) これより開票いたします。投票を参事に点検させます。

〔参事投票を計算、点検〕

○議長(関口昌一君) 決選投票の結果を報告いたします。

投票総数

二百四十六票

高市早苗君

百二十五票

野田佳彦君

四十六票

無効

四十七票

白票

二十八票

よつて、本院は、高市早苗君を内閣総理大臣に指名することに決しました。

〔拍手〕

〔投票者氏名は本号末尾に掲載〕

○議長(関口昌一君) 本日はこれにて散会いたします。

午後二時二十九分散会

出席者は左のとおり。

議長 関口昌一君  
副議長 福山哲郎君

議員

中田 優子君	宮出 千慧君
平戸 航太君	櫻井 祥子君
後藤 翔太君	小林さやか君
安達 悠司君	塩入 清香君
庭田 幸恵君	杉本 純子君
初鹿野裕樹君	竹詰 仁君
堂込麻紀子君	大津 力君
岩本 麻奈君	山中 泉君
浜口 誠君	松田 学君
安藤 裕君	梅村みずほ君
磯崎 哲史君	神谷 宗幣君
上田 清司君	奥村 祥大君
白川 容子君	かごしま彰宏君
岩渕 友君	大門実紀史君
牛田 某友君	水野 孝一君
山添 拓君	江原くみ子君
原田 秀一君	吉良よし子君
山田 吉彦君	伊藤 辰夫君
仁比 聡平君	下野 六太君
田村 まみ君	芳賀 道也君
小池 晃君	竹内 真二君
足立 康史君	後藤 斎君
伊藤 孝江君	三浦 信祐君
浜野 喜史君	伊藤 孝恵君
里見 隆治君	杉 久武君
舟山 康江君	榛葉賀津也君
川合 孝典君	横山 信一君
上田 勇君	高橋 光男君
秋野 公造君	石川 博崇君

平木 大作君	竹谷とし子君
谷合 正明君	西田 実仁君
川村 雄大君	吉井 章君
佐々木雅文君	長谷川英晴君
山本佐知子君	司 隆史君
小林 一大君	友納 理緒君
原田大二郎君	宮本 和宏君
東野 秀樹君	窪田 哲也君
梶原 大介君	神谷 政幸君
古庄 玄知君	宮崎 勝君
越智 俊之君	臼井 正一君
本田 顕子君	井上 義行君
青山 繁晴君	朝日健太郎君
小野田紀美君	山田 宏君
山下 雄平君	宮本 周司君
舞立 昇治君	滝波 宏文君
阿達 雅志君	松村 祥史君
猪口 邦子君	松下 新平君
片山さつき君	高橋 克法君
古賀友一郎君	青木 一彦君
野上浩太郎君	宮沢 洋一君
野村 哲郎君	三原じゅん子君
浅尾慶一郎君	福岡 資麿君
尾辻 朋実君	安野 貴博君
ながえ孝子君	平山佐知子君
寺田 静君	加藤 明良君
赤松 健君	生稲 晃子君
西田 英範君	鈴木 大地君
出川 桃子君	永井 学君
山本 啓介君	若林 洋平君
高橋はるみ君	星 北斗君
清水 真人君	加田 裕之君
佐藤 啓君	こやり隆史君

自見はなこ君	進藤金日子君
堀井 巖君	馬場 成志君
酒井 庸行君	上月 良祐君
江島 潔君	渡辺 猛之君
牧野たかお君	磯崎 仁彦君
石井 浩郎君	中西 祐介君
山本 順三君	岡田 直樹君
石井 準一君	松山 政司君
末松 信介君	山谷えり子君
北村 晴男君	高良 沙哉君
望月 良男君	百田 尚樹君
伊波 洋一君	今井絵理子君
脇 雅昭君	若井 敦子君
小林孝一郎君	見坂 茂範君
泉 房穂君	齊藤健一郎君
いんどう周作君	かまやち敏君
三上 えり君	岩本 剛人君
福山 守君	小川 克巳君
船橋 利実君	藤木 眞也君
松川 るい君	山田 太郎君
熊谷 裕人君	北村 経夫君
石田 昌宏君	藤川 政人君
長谷川 岳君	西田 昌司君
古川 俊治君	森 まさこ君
上野 通子君	大家 敏志君
小西 洋之君	有村 治子君
櫻井 充君	橋本 聖子君
鶴保 庸介君	鈴木 宗男君
森 ゆうこ君	山崎 正昭君
中曽根弘文君	山内佳菜子君
奥田ふみよ君	郡山りょう君
福士 珠美君	伊勢崎賢治君
小島とも子君	ラサール石井君

大島九州男君	横沢 高德君
村田 享子君	山本 太郎君
高木 真理君	古賀 千景君
柴 慎一君	鬼木 誠君
塩村あやか君	田島麻衣子君
岸 真紀子君	石垣のりこ君
木戸口英司君	古賀 之士君
杉尾 秀哉君	吉田 忠智君
小沢 雅仁君	石橋 通宏君
勝部 賢志君	森本 真治君
広田 一君	徳永 エリ君
斎藤 嘉隆君	水岡 俊一君
田名部匡代君	吉川 沙織君
牧山ひろえ君	青木 愛君
蓮 舫君	辻元 清美君
福島みずほ君	長浜 博行君
上野ほたる君	佐々木りえ君
新実 彰平君	石 平君
岡崎 太君	石井めぐみ君
青島 健太君	松野 明美君
金子 道仁君	羽田 次郎君
串田 誠一君	嘉田由紀子君
中条きよし君	打越さく良君
石井 苗子君	高木かおり君
片山 大介君	松沢 成文君
柴田 巧君	猪瀬 直樹君
浅田 均君	天島 大輔君
木村 英子君	

議員派遣中の議員

藤井 一博君

第二百十八回国会閉会後の議長の報告事項  
去る八月六日議長において、次のとおり常任委員  
の辞任を許可し、その補欠を指名した。  
予算委員

辞任 補欠  
青島 健太君 松野 明美君  
山添 拓君 大門実紀史君

行政監視委員  
辞任 補欠  
小沢 雅仁君 鬼木 誠君

議院運営委員  
辞任 補欠  
柴田 巧君 青島 健太君

去る八月七日人事院総裁から、国家公務員法、一  
般職の職員の給与に関する法律等に基づく公務員  
人事管理についての報告及び一般職の職員の給与  
についての報告、勧告を受領した。

去る八月八日内閣から、次の質問については、い  
ずれも検討する必要がある、これに日時を要する  
ため、それぞれ明示する期限までに答弁する旨の  
国会法第七十五条第二項後段の規定による各通知  
書を受領した。

参議院議員神谷宗幣君提出戦後八十年に際する  
首相見解の形式及び位置付けに関する質問(第  
一号)(答弁することのできる期限 八月十五  
日)

参議院議員神谷宗幣君提出SNSにおける言論  
操作及び政府答弁の整合性に関する質問(第二  
号)(同 八月十五日)

参議院議員神谷宗幣君提出フェンタニルを含む  
薬物問題及び外国勢力による影響工作への国家  
安全保障上の対応に関する質問(第三号)(同  
八月十五日)



## 令和七年十月二十一日 参議院会議録第一号 議長の報告事項

<p>参議院議員神谷宗幣君提出共産主義及び文化的マルクス主義の浸透と国家制度への影響に関する質問(第四号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出トランプ関税対策としての内需拡大策に関する質問(第五号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出トカラ列島近海群発地震被災者への支援に関する質問(第六号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出実動組織による原発避難支援が必要となる被曝線量限度に関する質問(第七号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出「日本はスパイ天国」という評価及び「スパイ防止法」制定に関する質問(第八号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員安達悠司君提出憲法を一から考える教育に関する質問(第九号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員安達悠司君提出選挙演説妨害の取締強化に関する質問(第一〇号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員伊勢崎賢治君提出ガザ地区の人道危機を鑑みたパレスチナ国家承認に関する質問(第二号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員伊勢崎賢治君提出イスラエルによる違法なパレスチナ占領政策及び軍事行動を支援する日本企業に対する人権デューデリジェンス強化に関する質問(第二号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員百田尚樹君提出国土交通大臣任命に関する質問(第一三三号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員百田尚樹君提出拉致問題担当の内閣官房参与二名の辞任に関する質問(第一四号)(同 八月十五日)</p>	<p>参議院議員奥田ふみよ君提出高齢労働者及び高齢事業主の窮状に鑑みた基礎年金早期引上げの必要性に関する質問(第一五号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員石垣のりこ君提出記入済みの投票用紙をSNS上に投稿することは是非に関する質問(第一六号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員石垣のりこ君提出パレスチナを国家として承認することに関する質問(第一七号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員松田学君提出外国人及び外国系法人による土地取得規制に関する質問(第一八号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員松田学君提出我が国の領土保全を脅かす中国海警船舶の接続水域長期巡航への対応に関する質問(第一九号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員ラサル石井君提出「国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン」に基づく強制送還の実態に関する質問(第二〇号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員蓮舫君提出日米関税交渉に関する質問(第二二号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員石垣のりこ君提出不法滞在者ゼロプランの実施状況に関する質問(第二二二号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員青木愛君提出木更津駐屯地に暫定配備されていたオスプレイに関する質問(第二三三号)(同 八月十五日)</p> <p>参議院議員青木愛君提出オスプレイの安全性並びにオスプレイを含めた防衛装備品の調達及びプロジェクト管理に関する質問(第二四号)(同 八月十五日)</p>	<p>去る八月十五日内閣から次の答弁書を受領した。</p> <p>参議院議員神谷宗幣君提出戦後八十年に際する首相見解の形式及び位置付けに関する質問に対する答弁書(第一号)</p> <p>参議院議員神谷宗幣君提出SNSにおける言論操作及び政府答弁の整合性に関する質問に対する答弁書(第二号)</p> <p>参議院議員神谷宗幣君提出フエンタニルを含む薬物問題及び外国勢力による影響工作への国家安全保障上の対応に関する質問に対する答弁書(第三号)</p> <p>参議院議員神谷宗幣君提出共産主義及び文化的マルクス主義の浸透と国家制度への影響に関する質問に対する答弁書(第四号)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出トランプ関税対策としての内需拡大策に関する質問に対する答弁書(第五号)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出トカラ列島近海群発地震被災者への支援に関する質問に対する答弁書(第六号)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出実動組織による原発避難支援が必要となる被曝線量限度に関する質問に対する答弁書(第七号)</p> <p>参議院議員山本太郎君提出「日本はスパイ天国」という評価及び「スパイ防止法」制定に関する質問に対する答弁書(第八号)</p> <p>参議院議員安達悠司君提出憲法を一から考える教育に関する質問に対する答弁書(第九号)</p> <p>参議院議員安達悠司君提出選挙演説妨害の取締強化に関する質問に対する答弁書(第一〇号)</p> <p>参議院議員伊勢崎賢治君提出ガザ地区の人道危機を鑑みたパレスチナ国家承認に関する質問に対する答弁書(第一二一号)</p>	<p>参議院議員伊勢崎賢治君提出イスラエルによる違法なパレスチナ占領政策及び軍事行動を支援する日本企業に対する人権デューデリジェンス強化に関する質問に対する答弁書(第二二二号)</p> <p>参議院議員百田尚樹君提出国土交通大臣任命に関する質問に対する答弁書(第二二三号)</p> <p>参議院議員百田尚樹君提出拉致問題担当の内閣官房参与二名の辞任に関する質問に対する答弁書(第二四四号)</p> <p>参議院議員奥田ふみよ君提出高齢労働者及び高齢事業主の窮状に鑑みた基礎年金早期引上げの必要性に関する質問に対する答弁書(第二五五号)</p> <p>参議院議員石垣のりこ君提出記入済みの投票用紙をSNS上に投稿することは是非に関する質問に対する答弁書(第一六六号)</p> <p>参議院議員石垣のりこ君提出パレスチナを国家として承認することに関する質問に対する答弁書(第一七七号)</p> <p>参議院議員松田学君提出外国人及び外国系法人による土地取得規制に関する質問に対する答弁書(第一八八号)</p> <p>参議院議員松田学君提出我が国の領土保全を脅かす中国海警船舶の接続水域長期巡航への対応に関する質問に対する答弁書(第一九九号)</p> <p>参議院議員ラサル石井君提出「国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン」に基づく強制送還の実態に関する質問に対する答弁書(第二〇〇号)</p> <p>参議院議員蓮舫君提出日米関税交渉に関する質問に対する答弁書(第二二二二号)</p> <p>参議院議員石垣のりこ君提出不法滞在者ゼロプランの実施状況に関する質問に対する答弁書(第二二三三号)</p>
---	---	--	--

<p>参議院議員青木愛君提出木更津駐屯地に暫定配備されていたオスブレイに関する質問に対する答弁書(第三号)</p> <p>参議院議員青木愛君提出オスブレイの安全性並びにオスブレイを含めた防衛装備品の調達及びプロジェクト管理に関する質問に対する答弁書(第二四号)</p> <p>去る八月十九日議長は、フランシス・エスクデロ・フィリピン共和国上院議長再任に際し、同議長宛祝辞を発送した。</p> <p>去る八月二十一日議長は、インド共和国北部及びパキスタン・イスラム共和国北部において発生した洪水による被害に対し、次の各国議会議長宛見舞状を発送した。</p> <p>インド共和国 ジャグディープ・ダン カル上院議長 サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 パキスタン・イスラム サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 共和国</p> <p>去る八月二十九日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>経済産業委員 辞任 補欠 佐々木りえ君 石井 章君</p> <p>国土交通委員 辞任 補欠 石井 章君 佐々木りえ君</p> <p>決算委員 辞任 補欠 石井 章君 猪瀬 直樹君</p> <p>同日議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p>	<p>消費者問題に関する特別委員 辞任 補欠 石井 章君 串田 誠一君</p> <p>去る九月一日議長は、比例代表選出議員石井章君の辞職を許可した。</p> <p>去る九月二日内閣から、財政法第四十六条第二項の規定による令和六年度における予算使用の状況(令和六年度出納整理期間を含む)の報告を受領した。</p> <p>同日内閣から、財政法第四十六条第二項の規定による令和七年度第一・四半期における予算使用の状況の報告を受領した。</p> <p>同日内閣から、財政法第四十六条第二項の規定による令和七年度第一・四半期における国庫の状況の報告を受領した。</p> <p>去る九月十日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>予算委員 辞任 補欠 神谷 宗幣君 安藤 裕君</p> <p>行政監視委員 辞任 補欠 安藤 裕君 神谷 宗幣君</p> <p>同日衆議院事務総長から本院事務総長宛次のとおり通知があった。</p> <p>今日、本院議員笠浩史君外二百三十八名より臨時国会召集要求書が提出されたので本日これを内閣に送付した。</p> <p>右念のため通知する。</p> <p>令和七年九月十日 衆議院事務総長 築山 信彦 参議院事務総長 小林 史武殿</p>	<p>参議院議員青木愛君提出オスブレイの安全性並びにオスブレイを含めた防衛装備品の調達及びプロジェクト管理に関する質問に対する答弁書(第二四号)</p> <p>去る八月十九日議長は、フランシス・エスクデロ・フィリピン共和国上院議長再任に際し、同議長宛祝辞を発送した。</p> <p>去る八月二十一日議長は、インド共和国北部及びパキスタン・イスラム共和国北部において発生した洪水による被害に対し、次の各国議会議長宛見舞状を発送した。</p> <p>インド共和国 ジャグディープ・ダン カル上院議長 サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 パキスタン・イスラム サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 共和国</p> <p>去る八月二十九日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>経済産業委員 辞任 補欠 佐々木りえ君 石井 章君</p> <p>国土交通委員 辞任 補欠 石井 章君 佐々木りえ君</p> <p>決算委員 辞任 補欠 石井 章君 猪瀬 直樹君</p> <p>同日議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p>	<p>参議院議員青木愛君提出オスブレイの安全性並びにオスブレイを含めた防衛装備品の調達及びプロジェクト管理に関する質問に対する答弁書(第二四号)</p> <p>去る八月十九日議長は、フランシス・エスクデロ・フィリピン共和国上院議長再任に際し、同議長宛祝辞を発送した。</p> <p>去る八月二十一日議長は、インド共和国北部及びパキスタン・イスラム共和国北部において発生した洪水による被害に対し、次の各国議会議長宛見舞状を発送した。</p> <p>インド共和国 ジャグディープ・ダン カル上院議長 サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 パキスタン・イスラム サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 共和国</p> <p>去る八月二十九日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>経済産業委員 辞任 補欠 佐々木りえ君 石井 章君</p> <p>国土交通委員 辞任 補欠 石井 章君 佐々木りえ君</p> <p>決算委員 辞任 補欠 石井 章君 猪瀬 直樹君</p> <p>同日議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p>	<p>参議院議員青木愛君提出オスブレイの安全性並びにオスブレイを含めた防衛装備品の調達及びプロジェクト管理に関する質問に対する答弁書(第二四号)</p> <p>去る八月十九日議長は、フランシス・エスクデロ・フィリピン共和国上院議長再任に際し、同議長宛祝辞を発送した。</p> <p>去る八月二十一日議長は、インド共和国北部及びパキスタン・イスラム共和国北部において発生した洪水による被害に対し、次の各国議会議長宛見舞状を発送した。</p> <p>インド共和国 ジャグディープ・ダン カル上院議長 サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 パキスタン・イスラム サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 共和国</p> <p>去る八月二十九日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>経済産業委員 辞任 補欠 佐々木りえ君 石井 章君</p> <p>国土交通委員 辞任 補欠 石井 章君 佐々木りえ君</p> <p>決算委員 辞任 補欠 石井 章君 猪瀬 直樹君</p> <p>同日議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p>	<p>参議院議員青木愛君提出オスブレイの安全性並びにオスブレイを含めた防衛装備品の調達及びプロジェクト管理に関する質問に対する答弁書(第二四号)</p> <p>去る八月十九日議長は、フランシス・エスクデロ・フィリピン共和国上院議長再任に際し、同議長宛祝辞を発送した。</p> <p>去る八月二十一日議長は、インド共和国北部及びパキスタン・イスラム共和国北部において発生した洪水による被害に対し、次の各国議会議長宛見舞状を発送した。</p> <p>インド共和国 ジャグディープ・ダン カル上院議長 サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 パキスタン・イスラム サイヤド・ユースフ・ ラザ・ギラーニ上院議 長 共和国</p> <p>去る八月二十九日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>経済産業委員 辞任 補欠 佐々木りえ君 石井 章君</p> <p>国土交通委員 辞任 補欠 石井 章君 佐々木りえ君</p> <p>決算委員 辞任 補欠 石井 章君 猪瀬 直樹君</p> <p>同日議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p>
<p>臨時国会召集要求書</p> <p>与党過半数割れとなった参議院選挙が七月二十日に行われて以来、九月七日に石破総理が退陣を表明するまで一か月半以上要した。この間の政治的空白により国政は停滞し、物価高騰に苦しむ国民生活に大きな影響を与えたことは明白である。</p> <p>これ以上国政の停滞は許されず、野党は、総裁選挙を早急に実施して九月中に臨時国会を召集するよう自由民主党に求めた。然るに、自由民主党はこれに応じず、十月四日に総裁選挙を行うことを総裁選挙管理委員会で決定し、九月中の臨時国会の召集を拒否した。政治的空白を更に長期化させる決定をした自由民主党は、党内事情を優先させるために国民生活を蔑ろにしたと断ぜざるを得ない。与党の怠慢であり国民に対する責任の放棄とも言える暴挙である。</p> <p>物価高対策をはじめ喫緊に対応すべき内外の諸課題が山積している。ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉の関税措置による影響緩和、経済対策等に不可欠な補正予算など、国会を早期に開いて審議しなければならない。</p> <p>よってここに、日本国憲法第五十三条に基づき、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、れいわ新選組、日本共産党、有志の会、参政党、日本保守党及び社会民主党は、衆議院議員二百三十九名の連名により、早急に臨時国会を召集するよう強く求める。</p> <p>自由民主党が総裁選挙を行っている間でも、臨時国会を召集し法案等について審議をするこ</p>	<p>臨時国会召集要求書</p> <p>与党過半数割れとなった参議院選挙が七月二十日に行われて以来、九月七日に石破総理が退陣を表明するまで一か月半以上要した。この間の政治的空白により国政は停滞し、物価高騰に苦しむ国民生活に大きな影響を与えたことは明白である。</p> <p>これ以上国政の停滞は許されず、野党は、総裁選挙を早急に実施して九月中に臨時国会を召集するよう自由民主党に求めた。然るに、自由民主党はこれに応じず、十月四日に総裁選挙を行うことを総裁選挙管理委員会で決定し、九月中の臨時国会の召集を拒否した。政治的空白を更に長期化させる決定をした自由民主党は、党内事情を優先させるために国民生活を蔑ろにしたと断ぜざるを得ない。与党の怠慢であり国民に対する責任の放棄とも言える暴挙である。</p> <p>物価高対策をはじめ喫緊に対応すべき内外の諸課題が山積している。ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉の関税措置による影響緩和、経済対策等に不可欠な補正予算など、国会を早期に開いて審議しなければならない。</p> <p>よってここに、日本国憲法第五十三条に基づき、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、れいわ新選組、日本共産党、有志の会、参政党、日本保守党及び社会民主党は、衆議院議員二百三十九名の連名により、早急に臨時国会を召集するよう強く求める。</p> <p>自由民主党が総裁選挙を行っている間でも、臨時国会を召集し法案等について審議をするこ</p>	<p>臨時国会召集要求書</p> <p>与党過半数割れとなった参議院選挙が七月二十日に行われて以来、九月七日に石破総理が退陣を表明するまで一か月半以上要した。この間の政治的空白により国政は停滞し、物価高騰に苦しむ国民生活に大きな影響を与えたことは明白である。</p> <p>これ以上国政の停滞は許されず、野党は、総裁選挙を早急に実施して九月中に臨時国会を召集するよう自由民主党に求めた。然るに、自由民主党はこれに応じず、十月四日に総裁選挙を行うことを総裁選挙管理委員会で決定し、九月中の臨時国会の召集を拒否した。政治的空白を更に長期化させる決定をした自由民主党は、党内事情を優先させるために国民生活を蔑ろにしたと断ぜざるを得ない。与党の怠慢であり国民に対する責任の放棄とも言える暴挙である。</p> <p>物価高対策をはじめ喫緊に対応すべき内外の諸課題が山積している。ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉の関税措置による影響緩和、経済対策等に不可欠な補正予算など、国会を早期に開いて審議しなければならない。</p> <p>よってここに、日本国憲法第五十三条に基づき、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、れいわ新選組、日本共産党、有志の会、参政党、日本保守党及び社会民主党は、衆議院議員二百三十九名の連名により、早急に臨時国会を召集するよう強く求める。</p> <p>自由民主党が総裁選挙を行っている間でも、臨時国会を召集し法案等について審議をするこ</p>	<p>臨時国会召集要求書</p> <p>与党過半数割れとなった参議院選挙が七月二十日に行われて以来、九月七日に石破総理が退陣を表明するまで一か月半以上要した。この間の政治的空白により国政は停滞し、物価高騰に苦しむ国民生活に大きな影響を与えたことは明白である。</p> <p>これ以上国政の停滞は許されず、野党は、総裁選挙を早急に実施して九月中に臨時国会を召集するよう自由民主党に求めた。然るに、自由民主党はこれに応じず、十月四日に総裁選挙を行うことを総裁選挙管理委員会で決定し、九月中の臨時国会の召集を拒否した。政治的空白を更に長期化させる決定をした自由民主党は、党内事情を優先させるために国民生活を蔑ろにしたと断ぜざるを得ない。与党の怠慢であり国民に対する責任の放棄とも言える暴挙である。</p> <p>物価高対策をはじめ喫緊に対応すべき内外の諸課題が山積している。ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉の関税措置による影響緩和、経済対策等に不可欠な補正予算など、国会を早期に開いて審議しなければならない。</p> <p>よってここに、日本国憲法第五十三条に基づき、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、れいわ新選組、日本共産党、有志の会、参政党、日本保守党及び社会民主党は、衆議院議員二百三十九名の連名により、早急に臨時国会を召集するよう強く求める。</p> <p>自由民主党が総裁選挙を行っている間でも、臨時国会を召集し法案等について審議をするこ</p>	<p>臨時国会召集要求書</p> <p>与党過半数割れとなった参議院選挙が七月二十日に行われて以来、九月七日に石破総理が退陣を表明するまで一か月半以上要した。この間の政治的空白により国政は停滞し、物価高騰に苦しむ国民生活に大きな影響を与えたことは明白である。</p> <p>これ以上国政の停滞は許されず、野党は、総裁選挙を早急に実施して九月中に臨時国会を召集するよう自由民主党に求めた。然るに、自由民主党はこれに応じず、十月四日に総裁選挙を行うことを総裁選挙管理委員会で決定し、九月中の臨時国会の召集を拒否した。政治的空白を更に長期化させる決定をした自由民主党は、党内事情を優先させるために国民生活を蔑ろにしたと断ぜざるを得ない。与党の怠慢であり国民に対する責任の放棄とも言える暴挙である。</p> <p>物価高対策をはじめ喫緊に対応すべき内外の諸課題が山積している。ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉の関税措置による影響緩和、経済対策等に不可欠な補正予算など、国会を早期に開いて審議しなければならない。</p> <p>よってここに、日本国憲法第五十三条に基づき、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、れいわ新選組、日本共産党、有志の会、参政党、日本保守党及び社会民主党は、衆議院議員二百三十九名の連名により、早急に臨時国会を召集するよう強く求める。</p> <p>自由民主党が総裁選挙を行っている間でも、臨時国会を召集し法案等について審議をするこ</p>	<p>臨時国会召集要求書</p> <p>与党過半数割れとなった参議院選挙が七月二十日に行われて以来、九月七日に石破総理が退陣を表明するまで一か月半以上要した。この間の政治的空白により国政は停滞し、物価高騰に苦しむ国民生活に大きな影響を与えたことは明白である。</p> <p>これ以上国政の停滞は許されず、野党は、総裁選挙を早急に実施して九月中に臨時国会を召集するよう自由民主党に求めた。然るに、自由民主党はこれに応じず、十月四日に総裁選挙を行うことを総裁選挙管理委員会で決定し、九月中の臨時国会の召集を拒否した。政治的空白を更に長期化させる決定をした自由民主党は、党内事情を優先させるために国民生活を蔑ろにしたと断ぜざるを得ない。与党の怠慢であり国民に対する責任の放棄とも言える暴挙である。</p> <p>物価高対策をはじめ喫緊に対応すべき内外の諸課題が山積している。ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉の関税措置による影響緩和、経済対策等に不可欠な補正予算など、国会を早期に開いて審議しなければならない。</p> <p>よってここに、日本国憲法第五十三条に基づき、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、れいわ新選組、日本共産党、有志の会、参政党、日本保守党及び社会民主党は、衆議院議員二百三十九名の連名により、早急に臨時国会を召集するよう強く求める。</p> <p>自由民主党が総裁選挙を行っている間でも、臨時国会を召集し法案等について審議をするこ</p>
<p>とは可能である。国会を開かず国民生活に直結する多くの問題を放置し続けることは重大な不作為であり、国益を損ねることに他ならない。これらのことを重く受け止め、石破内閣は党内事情よりも国民生活を優先し、行政府としての責任を果たすべく、一刻も早く国会を召集するよう早急に対応を取らねたい。</p> <p>令和七年九月十日</p> <p>笠浩史外二百三十八名</p> <p>代表者 笠 浩史 遠藤 敬 古川 元久 山川 仁 塩川 鉄也 福島 伸亨 鈴木 敦 河村たかし 新垣 邦男</p> <p>内閣総理大臣 石破 茂殿</p> <p>笠浩史外二百三十八名連名</p> <p>同日議長は、議長再任に際し、ヌーマン・クルトゥルムシュ・トルコ共和国国民議会議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。</p> <p>去る九月十一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>国家基本政策委員 辞任 補欠 片山 大介君 串田 誠一君</p>	<p>とは可能である。国会を開かず国民生活に直結する多くの問題を放置し続けることは重大な不作為であり、国益を損ねることに他ならない。これらのことを重く受け止め、石破内閣は党内事情よりも国民生活を優先し、行政府としての責任を果たすべく、一刻も早く国会を召集するよう早急に対応を取らねたい。</p> <p>令和七年九月十日</p> <p>笠浩史外二百三十八名</p> <p>代表者 笠 浩史 遠藤 敬 古川 元久 山川 仁 塩川 鉄也 福島 伸亨 鈴木 敦 河村たかし 新垣 邦男</p> <p>内閣総理大臣 石破 茂殿</p> <p>笠浩史外二百三十八名連名</p> <p>同日議長は、議長再任に際し、ヌーマン・クルトゥルムシュ・トルコ共和国国民議会議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。</p> <p>去る九月十一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>国家基本政策委員 辞任 補欠 片山 大介君 串田 誠一君</p>	<p>とは可能である。国会を開かず国民生活に直結する多くの問題を放置し続けることは重大な不作為であり、国益を損ねることに他ならない。これらのことを重く受け止め、石破内閣は党内事情よりも国民生活を優先し、行政府としての責任を果たすべく、一刻も早く国会を召集するよう早急に対応を取らねたい。</p> <p>令和七年九月十日</p> <p>笠浩史外二百三十八名</p> <p>代表者 笠 浩史 遠藤 敬 古川 元久 山川 仁 塩川 鉄也 福島 伸亨 鈴木 敦 河村たかし 新垣 邦男</p> <p>内閣総理大臣 石破 茂殿</p> <p>笠浩史外二百三十八名連名</p> <p>同日議長は、議長再任に際し、ヌーマン・クルトゥルムシュ・トルコ共和国国民議会議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。</p> <p>去る九月十一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>国家基本政策委員 辞任 補欠 片山 大介君 串田 誠一君</p>	<p>とは可能である。国会を開かず国民生活に直結する多くの問題を放置し続けることは重大な不作為であり、国益を損ねることに他ならない。これらのことを重く受け止め、石破内閣は党内事情よりも国民生活を優先し、行政府としての責任を果たすべく、一刻も早く国会を召集するよう早急に対応を取らねたい。</p> <p>令和七年九月十日</p> <p>笠浩史外二百三十八名</p> <p>代表者 笠 浩史 遠藤 敬 古川 元久 山川 仁 塩川 鉄也 福島 伸亨 鈴木 敦 河村たかし 新垣 邦男</p> <p>内閣総理大臣 石破 茂殿</p> <p>笠浩史外二百三十八名連名</p> <p>同日議長は、議長再任に際し、ヌーマン・クルトゥルムシュ・トルコ共和国国民議会議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。</p> <p>去る九月十一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>国家基本政策委員 辞任 補欠 片山 大介君 串田 誠一君</p>	<p>とは可能である。国会を開かず国民生活に直結する多くの問題を放置し続けることは重大な不作為であり、国益を損ねることに他ならない。これらのことを重く受け止め、石破内閣は党内事情よりも国民生活を優先し、行政府としての責任を果たすべく、一刻も早く国会を召集するよう早急に対応を取らねたい。</p> <p>令和七年九月十日</p> <p>笠浩史外二百三十八名</p> <p>代表者 笠 浩史 遠藤 敬 古川 元久 山川 仁 塩川 鉄也 福島 伸亨 鈴木 敦 河村たかし 新垣 邦男</p> <p>内閣総理大臣 石破 茂殿</p> <p>笠浩史外二百三十八名連名</p> <p>同日議長は、議長再任に際し、ヌーマン・クルトゥルムシュ・トルコ共和国国民議会議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。</p> <p>去る九月十一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>国家基本政策委員 辞任 補欠 片山 大介君 串田 誠一君</p>	<p>とは可能である。国会を開かず国民生活に直結する多くの問題を放置し続けることは重大な不作為であり、国益を損ねることに他ならない。これらのことを重く受け止め、石破内閣は党内事情よりも国民生活を優先し、行政府としての責任を果たすべく、一刻も早く国会を召集するよう早急に対応を取らねたい。</p> <p>令和七年九月十日</p> <p>笠浩史外二百三十八名</p> <p>代表者 笠 浩史 遠藤 敬 古川 元久 山川 仁 塩川 鉄也 福島 伸亨 鈴木 敦 河村たかし 新垣 邦男</p> <p>内閣総理大臣 石破 茂殿</p> <p>笠浩史外二百三十八名連名</p> <p>同日議長は、議長再任に際し、ヌーマン・クルトゥルムシュ・トルコ共和国国民議会議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。</p> <p>去る九月十一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>国家基本政策委員 辞任 補欠 片山 大介君 串田 誠一君</p>

<p>予算委員</p> <p>辞任 江島 潔君 補欠 見坂 茂範君</p> <p>山田 宏君 宮本 和宏君</p> <p>柴 慎一君 古賀 之士君</p> <p>田村 まみ君 舟山 康江君</p> <p>串田 誠一君 片山 大介君</p> <p>松野 明美君 石 平君</p> <p>山本 太郎君 奥田ふみよ君</p> <p>決算委員</p> <p>辞任 見坂 茂範君 補欠 江島 潔君</p> <p>古賀 之士君 柴 慎一君</p> <p>行政監視委員</p> <p>辞任 奥田ふみよ君 補欠 山本 太郎君</p> <p>同日議長は、議員齋藤嘉隆君外百二十名から内閣総理大臣宛の次の臨時国会召集要求書が提出されたのでこれを内閣に送付した。</p> <p>臨時国会召集要求書</p> <p>我々野党十党派は、国政の停滞が国民生活に重大な影響を与えている現状を深く憂慮し、臨時国会の速やかな召集を強く要求する。去る七月二十日の参議院選挙において、国民は物価高騰や実質賃金の伸び悩み、社会保障制度の将来不安など、切実な生活課題に対する政治の対応を厳しく問うた。選挙で示されたこの明確な意思を、国会における論戦を通じて政策へ直ちに反映させることこそ、民主主義の根幹である。</p> <p>しかしながら、投票票日からすでに二カ月近くが経過しているにもかかわらず、政府・与党は国会を開かず、国民への説明責任を果たしていない。その背景には、自民党内部の深刻な対</p>		<p>立と主導権争いがあり、政権運営に大きな停滞と混乱を招いていることは明らかである。さらに、総裁選をいわゆる「フルスベック」で実施すれば、国会の空白は三カ月近くにも及ぶこととなり、ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉に伴う関税措置の影響緩和、災害対策、経済対策等に不可欠な補正予算の編成など、喫緊の課題に対する政府の対応が著しく遅延することが強く懸念される。かかる長期に及ぶ政治の空白は、国民生活に直接のかつ重大な影響を及ぼすものであり、断じて看過することはできない。</p> <p>よってここに、日本国憲法第五十三条及び国会法第三条に基づき、立憲民主・社民・無所属、国民民主党・新緑風会、日本維新の会、参政党、日本共産党、れいわ新選組、日本保守党、沖縄の風、チームみらい及び社会民主党に所属する参議院議員は、速やかに臨時国会を召集するよう強く求める。</p> <p>令和七年九月十一日</p> <p>代表者 齋藤 嘉隆 伊藤 孝恵 柴田 巧 梅村みずほ 仁比 聡平 伊勢崎賢治 北村 晴男 伊波 洋一 安野 貴博 福島みずほ 他百十一名</p> <p>青木愛外百十名連名</p> <p>内閣総理大臣 石破 茂殿</p>		<p>同日本院事務総長から衆議院事務総長宛、本院議員齋藤嘉隆君外百二十名から臨時国会召集要求書が提出されこれを内閣に送付した旨通知した。</p> <p>去る九月十二日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>国家基本政策委員</p> <p>辞任 串田 誠一君 補欠 片山 大介君</p> <p>予算委員</p> <p>辞任 見坂 茂範君 補欠 江島 潔君</p> <p>宮本 和宏君 山田 宏君</p> <p>古賀 之士君 福島みずほ君</p> <p>舟山 康江君 田村 まみ君</p> <p>片山 大介君 串田 誠一君</p> <p>石 平君 松野 明美君</p> <p>安藤 裕君 神谷 宗幣君</p> <p>奥田ふみよ君 山本 太郎君</p> <p>決算委員</p> <p>辞任 江島 潔君 補欠 見坂 茂範君</p> <p>行政監視委員</p> <p>辞任 福島みずほ君 補欠 古賀 之士君</p> <p>神谷 宗幣君 安藤 裕君</p> <p>山本 太郎君 奥田ふみよ君</p> <p>同日会計検査院長から、会計検査院法第三十条の二の規定に基づく「各府省庁等の情報システムに係る情報セキュリティ対策等の状況について」の報告を受領した。</p> <p>同日議長は、議長再任に際し、マウレン・サガツトハンウルイ・アシムバエフ・カザフスタン共和</p> <p>国上院議長より祝辞を受け受領した。</p>		<p>同日議長は、マウレン・サガツトハンウルイ・アシムバエフ・カザフスタン共和国上院議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。</p> <p>去る九月十六日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。</p> <p>予算委員</p> <p>辞任 福島みずほ君 補欠 柴 慎一君</p> <p>決算委員</p> <p>辞任 柴 慎一君 補欠 古賀 之士君</p> <p>行政監視委員</p> <p>辞任 古賀 之士君 補欠 福島みずほ君</p> <p>去る九月十八日内閣総理大臣から令和四年七月十日執行の参議院比例代表選出議員選挙の繰上補充による当選人について通知書を受領した。</p> <p>上野 蛍君 (石井章君辞職による)</p> <p>同日議長は、次のとおり議員からの申請に基づき、議員氏名として使用することを許可した。</p> <p>議員氏名 上野 蛍君 (上野 蛍君申請)</p> <p>同日議長において、常任委員を次のとおり指名した。</p> <p>経済産業委員 上野 蛍君</p> <p>去る九月二十二日衆議院事務総長から本院事務総長宛、衆議院議長において裁判官訴追委員予備員阿部弘樹君の辞職を許可した旨の通知書を受領した。</p>	
--	--	---	--	--	--	---	--



去る九月二十六日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。  
国家基本政策委員

片山 大介君 補欠 高木かおり君  
片山 大介君 補欠 高木かおり君  
議院運営委員  
高木かおり君 片山 大介君

同日内閣から、国家公務員倫理法第四条の規定に基づく令和六年度国家公務員の倫理の保持に関する状況及び倫理の保持に関して講じた施策に関する報告を受領した。

同日内閣から、国家公務員倫理法第五条第六項の規定に基づく職員の職務に係る倫理に関する訓令に関する報告を受領した。

同日内閣から、自衛隊員倫理法第四条の規定に基づく令和六年度自衛隊員の倫理の保持に関する状況及び倫理の保持に関して講じた施策に関する報告を受領した。

同日会計検査院長から、会計検査院法第三十条の二の規定に基づく「国際機関等に対する拠出等の状況について」の報告を受領した。

去る九日議長は、議長再任に際し、チャン・ティン・マン・ベトナム社会主義共和国国会議長より祝辞を接受した。

同日議長は、チャン・ティン・マン・ベトナム社会主義共和国国会議長宛議長再任に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。

同日議長は、シア・キアン・ペン・シンガポール共和国国会議長再任に際し、同議長宛祝辞を発送した。

同日議長は、ヴィセンテ・ソト・フィリピン共和国上院議長就任に際し、同議長宛祝辞を発送した。

去る十五日臨時国会召集決定に関し次の通知があった。  
令和七年十月十五日

内閣総理大臣 石破 茂  
参議院議長 関口 昌一殿

政府は、当面の諸案件の審議を求めするため、来る十月二十一日に、臨時国会を召集することを決定いたしましたから、よろしくお取り計らい願います。

なお、本年九月十一日参庶文発第四四号をもって送付のあった臨時国会召集要求書に対しては、本日、貴院議員齋藤嘉隆君外百二十名の代表者齋藤嘉隆君、伊藤孝忠君、柴田巧君、梅村みずほ君、仁比聡平君、伊勢崎賢治君、北村晴男君、伊波洋一君、安野貴博君、福島みずほ君宛て別紙書面を送付しましたので、お含みおき願います。  
(別紙)

令和七年十月十五日

内閣官房長官 林 芳正

参議院議員 齋藤 嘉隆殿

参議院議員 伊藤 孝忠殿

参議院議員 柴田 巧殿

参議院議員 梅村みずほ殿

参議院議員 仁比 聡平殿

参議院議員 伊勢崎賢治殿

参議院議員 北村 晴男殿

参議院議員 伊波 洋一殿

参議院議員 安野 貴博殿

参議院議員 福島みずほ殿

さきに、貴殿方を代表とする齋藤嘉隆君外百二十名の方々から参議院議長を経由して内閣総理大臣宛て臨時国会の召集要求書の提出があり

ましたが、政府は、来る十月二十一日に、臨時国会を召集することを決定いたしましたから、御了承願います。

去る十六日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。  
総務委員

中西 祐介君 補欠 齊藤健一郎君  
農林水産委員  
齊藤健一郎君 補欠 中西 祐介君

昨二十日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。  
内閣委員

磯崎 仁彦君 補欠 西田 昌司君  
いんどう周作君 北村 経夫君  
酒井 庸行君 神谷 政幸君  
山谷えり子君 渡辺 猛之君  
足立 康史君 牛田 茉友君  
竹詰 仁君 堂込麻紀子君  
竹谷とし子君 窪田 哲也君  
原田大二郎君 司 隆史君

総務委員  
岩本 剛人君 補欠 脇 雅昭君  
馬場 成志君 中西 祐介君  
松下 新平君 出川 桃子君  
山田 太郎君 いんどう周作君  
伊藤 辰夫君 奥村 祥大君  
芳賀 道也君 足立 康史君  
上田 勇君 平木 大作君  
西田 実仁君 原田大二郎君

法務委員

小川 克巳君 補欠 鈴木 宗男君

森 まさこ君 有村 治子君  
渡辺 猛之君 山谷えり子君  
牛田 茉友君 小林さやか君  
三浦 信祐君 伊藤 孝江君  
嘉田由紀子君 松沢 成文君

外交防衛委員  
有村 治子君 補欠 白井 正一君  
猪口 邦子君 馬場 成志君  
かまやち敏君 山田 太郎君  
小林 一大君 鈴木 大地君  
若林 洋平君 加田 裕之君  
江原くみ子君 山田 吉彦君  
高橋 光男君 里見 隆治君  
松沢 成文君 嘉田由紀子君

財政金融委員  
大家 敏志君 補欠 宮本 周司君  
西田 昌司君 磯崎 仁彦君  
野上浩太郎君 西田 英範君  
古川 俊治君 岩本 剛人君  
牧野たかお君 星 北斗君  
三原じゅん子君 小林孝一郎君  
奥村 祥大君 江原くみ子君  
平戸 航太君 原田 秀一君  
杉 久武君 竹谷とし子君  
横山 信一君 上田 勇君

文教科学委員									
辞任					補欠				
白井 正一君	朝日健太郎君	清水 真人君	宮本 周司君	若井 敦子君	後藤 斎君	国土交通委員	辞任	朝日健太郎君	江島 潔君
見坂 茂範君	高橋はるみ君	宮本 和宏君	水野 孝一君	横山 信一君	新実 彰平君	厚生労働委員	辞任	神谷 政幸君	こやり隆史君
小林孝一郎君	宮本 和宏君	水野 孝一君	横山 信一君	新実 彰平君	補欠	酒井 庸行君	小川 克巳君	かまやち敏君	古川 俊治君
鈴木 大地君	宮本 和宏君	水野 孝一君	横山 信一君	新実 彰平君	補欠	山下 雄平君	三原じゅん子君	芳賀 道也君	庭田 幸恵君
堂込麻紀子君	宮本 和宏君	水野 孝一君	横山 信一君	新実 彰平君	補欠	山下 雄平君	三原じゅん子君	芳賀 道也君	庭田 幸恵君
平木 大作君	宮本 和宏君	水野 孝一君	横山 信一君	新実 彰平君	補欠	山下 雄平君	三原じゅん子君	芳賀 道也君	庭田 幸恵君
中条きよし君	宮本 和宏君	水野 孝一君	横山 信一君	新実 彰平君	補欠	山下 雄平君	三原じゅん子君	芳賀 道也君	庭田 幸恵君
					環境委員				
					辞任				
					梶原 大介君				
					加田 裕之君				
					鈴木 宗男君				
					鶴保 庸介君				
					宮本 和宏君				
					原田 秀一君				
					伊藤 孝江君				
					国家基本政策委員				
					辞任				
					阿達 雅志君				
					加藤 明良君				
					古賀友一郎君				
					滝波 宏文君				
					古川 俊治君				
					山本佐知子君				
					足立 康史君				
					補欠				
					森 まさこ君				
					若林 洋平君				
					猪口 邦子君				
					吉井 章君				
					松下 新平君				
					伊藤 辰夫君				
					杉 久武君				
					舞立 昇治君				
					山下 雄平君				
					越智 俊之君				
					清水 真人君				
					三原じゅん子君				
					山本 啓介君				
					山田 吉彦君				
					予算委員				
					辞任				
					猪口 邦子君				
					白井 正一君				
					江島 潔君				
					自見はなこ君				
					永井 学君				
					宮本 周司君				
					山下 雄平君				
					江原くみ子君				
					上田 勇君				
					平木 大作君				
					三浦 信祐君				
					宮崎 勝君				
					決算委員				
					辞任				
					いんどう周作君				
					越智 俊之君				
					見坂 茂範君				
					藤川 政人君				
					竹詰 仁君				
					浜口 誠君				
					窪田 哲也君				
					杉 久武君				
					竹谷とし子君				
					行政監視委員				
					辞任				
					井上 義行君				
					小川 克巳君				
					加田 裕之君				
					鈴木 大地君				
					出川 桃子君				
					西田 英範君				
					本田 顕子君				
					補欠				
					宮本 和宏君				
					福山 守君				
					藤川 政人君				
					加田 裕之君				
					小川 克巳君				
					本田 顕子君				
					加藤 明良君				
					平戸 航太君				
					杉 久武君				
					窪田 哲也君				
					原田大二郎君				
					佐々木雅文君				
					補欠				
					宮本 周司君				
					井上 義行君				
					山田 太郎君				
					小林 一大君				
					堂込麻紀子君				
					江原くみ子君				
					宮崎 勝君				
					司 隆史君				
					上田 勇君				
					補欠				
					浅尾慶一郎君				
					永井 学君				
					自見はなこ君				
					江島 潔君				
					赤松 健君				
					梶原 大介君				
					見坂 茂範君				
					懲罰委員				
					辞任				
					大家 敏志君				
					東野 秀樹君				
					同日議長において、次のとおり憲法審査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。				
					白井 正一君				
					梶原 大介君				
					加藤 明良君				
					東野 秀樹君				
					藤川 政人君				
					藤木 眞也君				
					松下 新平君				
					山本 啓介君				
					若林 洋平君				
					水野 孝一君				
					伊藤 孝江君				
					補欠				
					かまやち敏君				
					宮本 和宏君				
					出川 桃子君				
					鈴木 宗男君				
					古賀友一郎君				
					脇 雅昭君				
					福山 守君				
					いんどう周作君				
					石田 昌宏君				
					原田 秀一君				
					原田大二郎君				

同日議長において、次のとおり政治倫理審査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

辞任 補欠

宮本 和宏君 石井 浩郎君

山下 雄平君 中西 祐介君

平戸 航太君 上田 清司君

石川 博崇君 横山 信一君

同日委員長から次の報告書が提出された。

内閣の重要政策及び警察等に関する調査報告書

行政制度、地方行財政、選挙、消防、情報通信

及び郵政事業等に関する調査報告書

法務及び司法行政等に関する調査報告書

外交、防衛等に関する調査報告書

財政及び金融等に関する調査報告書

教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に關

する調査報告書

社会保障及び労働問題等に関する調査報告書

農林水産に関する調査報告書

経済、産業、貿易及び公正取引等に関する調査

報告書

国土の整備、交通政策の推進等に関する調査報

告書

環境及び公害問題に関する調査報告書

予算の執行状況に関する調査報告書

国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調

査報告書

行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に關

する調査報告書

災害対策樹立に関する調査報告書

政府開発援助等及び沖縄・北方問題対策樹立に

関する調査報告書

政治改革に関する調査報告書

北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に  
関する調査報告書

地方創生及びデジタル社会の形成等に関しての

総合的な対策樹立に関する調査報告書

消費者問題に関しての総合的な対策樹立に關す

る調査報告書

東日本大震災復興の総合的対策に関する調査報

告書

本日内閣総理大臣から次の通知書を受領した。

内閣は、本日、総辞職することに決定いたし

ましたから、国会法第六十四条によって、この

旨、通知いたします。

投票者氏名

内閣総理大臣の指名

高市早苗君に投票した者の氏名

青木 一彦君

赤松 健君

朝日健太郎君

有村 治子君

石井 準一君

石田 昌宏君

井上 義行君

今井絵理子君

いんどう周作君

白井 正一君

大家 敏志君

小川 克巳君

小野田紀美君

加田 裕之君

青山 繁晴君

浅尾慶一郎君

阿達 雅志君

生稲 晃子君

石井 浩郎君

磯崎 仁彦君

猪口 邦子君

岩本 剛人君

上野 通子君

江島 潔君

岡田 直樹君

越智 俊之君

梶原 大介君

片山さつき君

加藤 明良君

神谷 政幸君

見坂 茂範君

古賀友一郎君

小林 一大君

こやり隆史君

酒井 庸行君

佐藤 啓君

清水 真人君

末松 信介君

鈴木 宗男君

高橋はるみ君

鶴保 庸介君

友納 理緒君

中曽根弘文君

西田 昌司君

野上浩太郎君

橋本 聖子君

長谷川英晴君

東野 秀樹君

福山 守君

藤木 眞也君

古川 俊治君

堀井 巖君

舞立 昇治君

松川 るい君

松村 祥史君

三原じゅん子君

宮本 和宏君

森 まさこ君

山下 雄平君

山田 宏君

かまやち敏君

北村 経夫君

上月 良祐君

古庄 玄知君

小林孝一郎君

齊藤健一郎君

櫻井 充君

自見はなこ君

進藤金日子君

鈴木 大地君

高橋 克法君

滝波 宏文君

出川 桃子君

永井 学君

中西 祐介君

西田 英範君

野村 哲郎君

長谷川 岳君

馬場 成志君

福岡 資麿君

藤川 政人君

船橋 利実君

星 北斗君

本田 顕子君

牧野たかお君

松下 新平君

松山 政司君

宮沢 洋一君

宮本 周司君

山崎 正昭君

山田 太郎君

山谷えり子君

山本 啓介君

山本 順三君

若井 敦子君

脇 雅昭君

青島 健太君

石井 苗子君

猪瀬 直樹君

岡崎 太君

片山 大介君

串田 誠一君

柴田 巧君

高木かおり君

新実 彰平君

松野 明美君

寺田 静君

望月 良男君

青木 愛君

石橋 通宏君

小沢 雅仁君

勝部 賢志君

木戸口英司君

郡山りょう君

古賀 之士君

小西 洋之君

塩村あやか君

杉尾 秀哉君

田島麻衣子君

辻元 清美君

長浜 博行君

広田 一君

山本佐知子君

吉井 章君

若林 洋平君

渡辺 猛之君

浅田 均君

石井めぐみ君

上野ほたる君

嘉田由紀子君

金子 道仁君

佐々木りえ君

石 平君

中条きよし君

松沢 成文君

北村 晴男君

平山佐知子君

石垣のりこ君

打越さく良君

鬼木 誠君

岸 真紀子君

熊谷 裕人君

古賀 千景君

小島とも子君

斎藤 嘉隆君

柴 慎一君

高木 真理君

田名部匡代君

徳永 エリ君

羽田 次郎君

福士 珠美君

野田佳彦君に投票した者の氏名

青木 愛君

石橋 通宏君

小沢 雅仁君

勝部 賢志君

木戸口英司君

郡山りょう君

古賀 之士君

小西 洋之君

塩村あやか君

杉尾 秀哉君

田島麻衣子君

辻元 清美君

長浜 博行君

広田 一君

<p>福島みずほ君</p> <p>三上 えり君</p> <p>村田 享子君</p> <p>森本 真治君</p> <p>横沢 高德君</p> <p>吉田 忠智君</p> <p>伊波 洋一君</p> <p>ながえ孝子君</p>	<p>司 隆史君</p> <p>原田大二郎君</p> <p>三浦 信祐君</p> <p>横山 信一君</p>	<p>神谷宗幣君に投票した者の氏名</p> <p>安達 悠司君</p> <p>岩本 麻奈君</p> <p>大津 力君</p> <p>後藤 翔太君</p> <p>塩入 清香君</p> <p>中田 優子君</p> <p>松田 学君</p> <p>山中 泉君</p>	<p>田村智子君に投票した者の氏名</p> <p>岩渕 友君</p> <p>小池 晃君</p> <p>大門実紀史君</p> <p>山添 拓君</p>	<p>山本太郎君に投票した者の氏名</p> <p>伊勢崎賢治君</p> <p>奥田ふみよ君</p> <p>天畠 大輔君</p>	<p>安野貴博君に投票した者の氏名</p> <p>泉 房穂君</p> <p>安野 貴博君</p>	<p>百田尚樹君に投票した者の氏名</p> <p>百田 尚樹君</p>	<p>福島みずほ君に投票した者の氏名</p> <p>ラサル石井君</p>	<p>白 票</p> <p>尾辻 朋実君</p>	<p>内閣総理大臣の指名「決選投票」</p> <p>高市早苗君に投票した者の氏名</p> <p>青木 一彦君</p> <p>赤松 健君</p> <p>朝日健太郎君</p> <p>有村 治子君</p> <p>石井 準一君</p> <p>石田 昌宏君</p> <p>井上 義行君</p> <p>今井絵理子君</p> <p>いんどう周作君</p> <p>白井 正一君</p> <p>大家 敏志君</p> <p>小川 克巳君</p> <p>小野田紀美君</p> <p>加田 裕之君</p> <p>加藤 明良君</p> <p>神谷 政幸君</p> <p>見坂 茂範君</p> <p>古賀友一郎君</p> <p>小林 一大君</p> <p>こやり隆史君</p> <p>酒井 庸行君</p> <p>佐藤 啓君</p> <p>清水 真人君</p> <p>末松 信介君</p>	<p>鈴木 宗男君</p> <p>高橋はるみ君</p> <p>鶴保 庸介君</p> <p>友納 理緒君</p> <p>中曽根弘文君</p> <p>西田 昌司君</p> <p>野上浩太郎君</p> <p>橋本 聖子君</p> <p>長谷川英晴君</p> <p>東野 秀樹君</p> <p>福山 守君</p> <p>藤木 眞也君</p> <p>古川 俊治君</p> <p>堀井 巖君</p> <p>舞立 昇治君</p> <p>松川 るい君</p> <p>松村 祥史君</p> <p>三原しゅん子君</p> <p>宮本 和宏君</p> <p>森 まさこ君</p> <p>山下 雄平君</p> <p>山田 宏君</p> <p>山本 啓介君</p> <p>山本 順三君</p> <p>若井 敦子君</p> <p>脇 雅昭君</p> <p>小林さやか君</p> <p>浅田 均君</p> <p>石井めぐみ君</p> <p>上野はたる君</p> <p>嘉田由紀子君</p> <p>金子 道仁君</p>	<p>高橋 克法君</p> <p>滝波 宏文君</p> <p>出川 桃子君</p> <p>永井 学君</p> <p>中西 祐介君</p> <p>西田 英範君</p> <p>野村 哲郎君</p> <p>長谷川 岳君</p> <p>馬場 成志君</p> <p>福岡 資麿君</p> <p>藤川 政人君</p> <p>船橋 利実君</p> <p>星 北斗君</p> <p>本田 顕子君</p> <p>牧野たかお君</p> <p>松下 新平君</p> <p>松山 政司君</p> <p>宮沢 洋一君</p> <p>宮本 周司君</p> <p>山崎 正昭君</p> <p>山田 太郎君</p> <p>山谷えり子君</p> <p>山本佐知子君</p> <p>吉井 章君</p> <p>若林 洋平君</p> <p>渡辺 猛之君</p> <p>青島 健太君</p> <p>石井 苗子君</p> <p>猪瀬 直樹君</p> <p>岡崎 太君</p> <p>片山 大介君</p> <p>串田 誠一君</p>
---	--	--	--	---	--	-------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------	---	---	---



令和七年十月二十一日 参議院会議録第一号 投票者氏名 指定された議席

野田佳彦君に投票した者の氏名										無効票									
佐々木りえ君	柴田 巧君	足立 康史君	磯崎 哲史君	竹内 真二君	竹谷とし子君	二〇	松田 学君	石	平君	高木かおり君	伊藤 孝恵君	伊藤 辰夫君	谷合 正明君	司 隆史君	安藤 裕君	二一			
中条きよし君	新美 彰平君	上田 清司君	牛田 茉友君	西田 実仁君	原田大二郎君	二二	梅村みずほ君	松沢 成文君	松野 明美君	江原くみ子君	奥村 祥大君	平木 大作君	平木 大作君	三浦 信祐君	磯崎 哲史君	二二			
北村 晴男君	百田 尚樹君	かごしま彰宏君	川合 孝典君	宮崎 勝君	横山 信一君	二四	神谷 宗幣君	寺田 静君	平山佐知子君	後藤 斎君	榛葉賀津也君	岩渕 友君	小池 晃君	吉良よし子君	上田 清司君	神谷 宗幣君	二四		
望月 良男君		竹詰 仁君	田村 まみ君	大門実紀史君	仁比 聡平君	二六	奥村 祥大君			堂込麻紀子君	庭田 幸恵君	山添 拓君	大門実紀史君	仁比 聡平君	白川 容子君	白川 容子君	二六		
		芳賀 道也君	浜口 誠君	山添 拓君	尾辻 朋実君	二七	かごしま彰宏君	青木 愛君	石垣のりこ君	泉 房穂君	小沢 雅仁君	勝部 賢志君	木戸口英司君	郡山りよう君	古賀 之士君	小西 洋之君	二七		
		平戸 航太君	舟山 康江君			二八	岩本 麻奈君	石橋 通宏君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	二八		
		安藤 悠司君	山田 吉彦君			二九	後藤 翔太君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	二九		
		梅村みずほ君	大津 力君			三〇	塩入 清香君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三〇		
		神谷 宗幣君	塩入 清香君			三一	中田 優子君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三一		
		櫻井 祥子君	中田 優子君			三二	宮出 千慧君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三二		
		杉本 純子君	松田 学君			三三	平戸 航太君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三三		
		初鹿野裕樹君	山本 太郎君			三四	後藤 翔太君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三四		
		宮出 千慧君	山本 太郎君			三五	小林さやか君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三五		
		伊勢崎賢治君	大島九州男君			三六	安達 悠司君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三六		
		奥田ふみよ君	木村 英子君			三七	塩入 清香君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三七		
		天畠 大輔君	山本 太郎君			三八	庭田 幸恵君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三八		
		安野 貴博君	山本 太郎君			三九	杉本 純子君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	三九		
			山本 太郎君			四〇	初鹿野裕樹君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四〇		
			山本 太郎君			四一	竹詰 仁君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四一		
			山本 太郎君			四二	堂込麻紀子君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四二		
			山本 太郎君			四三	大津 力君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四三		
			山本 太郎君			四四	岩本 麻奈君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四四		
			山本 太郎君			四五	山中 泉君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四五		
			山本 太郎君			四六	伊藤 孝江君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四六		
			山本 太郎君			四七	川村 雄大君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四七		
			山本 太郎君			四八	上田 勇君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四八		
			山本 太郎君			四九	窪田 哲也君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	四九		
			山本 太郎君			五〇	里見 隆治君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	五〇		
			山本 太郎君			五一	杉 久武君	打越さく良君	鬼木 誠君	岸 真紀子君	熊谷 裕人君	古賀 千景君	小島とも子君	斎藤 嘉隆君	柴 慎一君	高木 真理君	五一		

五二	杉 久武君	八四	井上 義行君	一四八	高良 沙哉君
五三	舟山 康江君	八五	青山 繁晴君	一四九	望月 良男君
五四	榛葉賀津也君	八六	朝日健太郎君	一五〇	百田 尚樹君
五五	川合 孝典君	八七	小野田紀美君	一五一	伊波 洋一君
五六	横山 信一君	八八	山田 宏君	一五二	今井絵理子君
五七	上田 勇君	八九	山下 雄平君	一五三	脇 雅昭君
五八	高橋 光男君	九〇	宮本 周司君	一五四	若井 敦子君
五九	秋野 公造君	九一	舞立 昇治君	一五五	小林孝一郎君
六〇	石川 博崇君	九二	滝波 宏文君	一五六	見坂 茂範君
六一	平木 大作君	九三	阿達 雅志君	一五七	泉 房穂君
六二	竹谷とし子君	九四	松村 祥史君	一五八	齊藤健一郎君
六三	谷合 正明君	九五	猪口 邦子君	一五九	いんどう周作君
六四	西田 実仁君	九六	松下 新平君	一六〇	かまやち敏君
六五	川村 雄大君	九七	片山さつき君	一六一	三上 えり君
六六	吉井 章君	九八	高橋 克法君	一六二	岩本 剛人君
六七	佐々木雅文君	九九	古賀友一郎君	一六三	福山 守君
六八	長谷川英晴君	一〇〇	青木 一彦君	一六四	小川 克巳君
六九	山本佐知子君	一〇一	野上浩太郎君	一六五	船橋 利実君
七〇	司 隆史君	一〇二	宮沢 洋一君	一六六	藤木 眞也君
七一	小林 一大君	一〇三	野村 哲郎君	一六七	松川 るい君
七二	友納 理緒君	一〇四	三原じゅん子君	一六八	山田 太郎君
七三	原田大二郎君	一〇五	浅尾慶一郎君	一六九	熊谷 裕人君
七四	宮本 和宏君	一〇六	福岡 資麿君	一七〇	北村 経夫君
七五	東野 秀樹君	一〇七	尾辻 朋実君	一七一	石田 昌宏君
七六	窪田 哲也君	一〇八	安野 貴博君	一七二	藤川 政人君
七七	梶原 大介君	一〇九	ながえ孝子君	一七三	長谷川 岳君
七八	神谷 政幸君	一一〇	平山佐知子君	一七四	西田 昌司君
七九	古庄 玄知君	一一一	寺田 静君	一七五	古川 俊治君
八〇	宮崎 勝君	一一二	加藤 明良君	一七六	森 まさこ君
八一	越智 俊之君	一一三	赤松 健君	一七七	上野 通子君
八二	白井 正一君	一一四	生稲 晃子君	一七八	大家 敏志君
八三	本田 顕子君	一一五	西田 英範君	一七九	小西 洋之君

令和七年十月二十一日 参議院会議録第一号 指定された議席

一八〇	有村 治子君	二二二	杉尾 秀哉君	二四四	嘉田由紀子君
一八一	櫻井 充君	二二三	吉田 忠智君	二四五	中条きよし君
一八二		二二四	小沢 雅仁君	二四六	打越さく良君
一八三	橋本 聖子君	二二五	石橋 通宏君	二四七	石井 苗子君
一八四	鶴保 庸介君	二二六	勝部 賢志君	二四八	高木かおり君
一八五	鈴木 宗男君	二二七	森本 真治君	二四九	片山 大介君
一八六	森 ゆうこ君	二二八	広田 一君	二五〇	松沢 成文君
一八七	山崎 正昭君	二二九	徳永 エリ君	二五一	柴田 巧君
一八八	中曽根弘文君	二三〇	斎藤 嘉隆君	二五二	猪瀬 直樹君
一八九	関口 昌一君	二三一	水岡 俊一君	二五三	浅田 均君
一九〇	福山 哲郎君	二三二	田名部匡代君	二五四	天畠 大輔君
一九一	山内佳菜子君	二三三	吉川 沙織君	二五五	木村 英子君
一九二	奥田ふみよ君	二三四	牧山ひろえ君		
一九三	郡山りよう君	二二五	青木 愛君		
一九四	福士 珠美君	二二六	蓮 舫君		
一九五	伊勢崎賢治君	二二七	辻元 清美君		
一九六	小島とも子君	二二八	福島みずほ君		
一九七	ラサール石井君	二二九	長浜 博行君		
一九八	大島九州男君	二三〇	上野ほたる君		
一九九	横沢 高德君	二三一			
二〇〇	村田 享子君	二三二			
二〇一	山本 太郎君	二三三	佐々木りえ君		
二〇二	高木 真理君	二三四	新実 彰平君		
二〇三	古賀 千景君	二三五			
二〇四	柴 愼一君	二三六	石 平君		
二〇五	鬼木 誠君	二三七	岡崎 太君		
二〇六	塩村あやか君	二三八	石井めぐみ君		
二〇七	田島麻衣子君	二三九	青島 健太君		
二〇八	岸 真紀子君	二四〇	松野 明美君		
二〇九	石垣のりこ君	二四一	金子 道仁君		
二一〇	木戸口英司君	二四二	羽田 次郎君		
二一一	古賀 之士君	二四三	串田 誠一君		

